

令和5年度の重点課題

- 新体力テストの総合評価AB率17%、DE率42%である。（（AB-DE）率－25%）
- 男子は、「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」において、県平均値かつ全国平均値より低くなっている。
- 女子は、「長座体前屈」「立ち幅とび」において、県平均値かつ全国平均値より低くなっている。
- 運動習慣に関するアンケートによると、1日の運動実施時間が、30分未満と回答する児童の割合が男子で22%、女子で67%と高く、運動をしない児童の割合を減していく必要がある。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

- 「走力（瞬発力）」を高めるため、体育の授業の準備運動で「おにごっこ」を取り入れた。
- 児童会の体育委員会が主体となって、「50m走記録会」や「サーキットトレーニング」「ドッジボール大会」「なわとび大会」「全校おにごっこ」等を企画し、実施した。
- 持久力を高めるため、プロの実業団（中国電力陸上部・ダイソー女子駅伝）を招聘し、走り方の指導や経験談の話をしてもらい、実技面だけではなく情意面の向上につなげた。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値（令和5年度）・全国平均値（令和4年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.50	21.88	33.63	42.75	44.13	9.34	150.88	25.88	55.63	第5学年	19.20	21.60	37.00	45.20	41.00	9.14	144.00	18.00	61.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和5年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.50	21.88	33.63	42.75	44.13	9.34	150.88	25.88	55.63	第5学年	19.20	21.60	37.00	45.20	41.00	9.14	144.00	18.00	61.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	75.00	25.00	0.00	0.00	第5学年	20.00	80.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	100	0	0	0	第1学年	50	50	0	0
第2学年	100	0	0	0	第2学年	100	0	0	0
第3学年	60	40	0	0	第3学年	25	25	25	25
第4学年	100	0	0	0	第4学年	60	20	0	20
第5学年	62.5	37.5	0	0	第5学年	40	60	0	0
第6学年	89	0	11	0	第6学年	33	67	0	0

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・年間を通して、準備運動で「おにごっこ」を行う。
- ・運動の特性を生かした準備運動を行うとともに、けが防止の為に柔軟運動を取り入れる。
- ・個々の目標に向かって取り組めるよう学習カード、場の設定、用具の工夫等を行って、児童が主体的に楽しみながら取り組めるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・児童会の体育委員会が主体となり、全校児童の体力向上のためのイベントを企画し運営する。
- ・持久力向上を目指し、全校で3分間走に取り組む。
- ・プロの実業団を招聘し、実技指導及び体験談をしてもらう。
- ・全児童を対象とした意識調査を実施する。

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が75%、やや好きと答える児童が25%で、肯定的に答える児童が100%だった。
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が20%、やや好きと答える児童が80%で、肯定的に答える児童が100%だった。しかし、好きと答える児童の割合が昨年度よりも40%少ない。

体力面での課題

- 男子
 - ・「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
 - ・「長座体前屈」「立ち幅とび」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
 - ・1日の活動時間が30分未満の児童が30%である。

令和7年度の
重点目標値

- 運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合を、男女平均で80%以上にする。
- 1日の活動時間が30分未満の児童を、前回を上回るようにする。
- 「20mシャトルラン」を県平均値以上にする。
- 「長座体前屈」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 「立ち幅とび」については、前回の学年平均値を上回るようにする。